(19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-223477

(43)公開日 平成8年(1996)8月30日

(51) Int.Cl.⁶ H 0 4 N 5/235 識別記号 庁内整理番号 \mathbf{F} I

技術表示箇所

H 0 4 N 5/235

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平7-28045

平成7年(1995)2月16日

(71)出願人 000005429

日立電子株式会社

東京都千代田区神田和泉町1番地

(72)発明者 寺元 俊夫

東京都小平市御幸町32番地 日立電子株式

会社小金井工場内

(72) 発明者 鈴木 誠

東京都小平市御幸町32番地 日立電子株式

会社小金井工場内

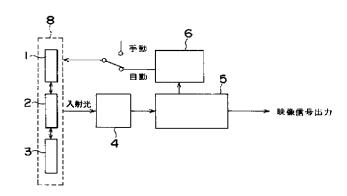
(54) 【発明の名称】 テレビジョンカメラ

(57)【要約】

(22)出願日

【目的】 1台のテレビカメラで波長成分の異なる複数 の画像を選択的あるいは同時に出力することを目的とす る。

【構成】 テレビジョンカメラにおいて、1つの撮像素 子の光路中に、光を透過する波長領域の異なる複数の光 学フィルタを選択的に切換え装着する構成、あるいは分 光器と複数の撮像素子の各光路中に、光を透過する波長 領域の異なる光学フィルタをそれぞれ装着する構成とし たものである。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 1つの撮像素子の光路中に、光を透過す る波長領域の異なる複数の光学フィルタを選択的に切換 え装着する構成とし、光の波長成分ごとの映像信号を選 択的に取り出すことを特徴とするテレビジョンカメラ。

【請求項2】 分光器と複数の撮像素子の各光路中に、 光を透過する波長領域の異なる光学フィルタをそれぞれ 装着する構成とし、光の波長成分ごとの映像信号を同時 に取り出すことを特徴とするテレビジョンカメラ。

複数の光学フィルタを、それぞれ紫外光、可視光、赤外 光の透過フィルタとしたことを特徴とするテレビジョン カメラ。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は波長成分ごとの映像信号 を選択的に取り出すことのできるテレビジョンカメラ、 および波長成分ごとの映像信号を同時に取り出すことの できるテレビジョンカメラに関するものである。

[0002]

【従来の技術】従来のテレビジョンカメラは、用途に合 わせて可視光用、赤外光用、紫外光用のように、波長成 分ごとに独立したカメラが用いられていた。例えば、電 気回路基板等のはんだのボンディグ形状検査をする場 合、可視光による検査と赤外光による検査を併用するこ とによって、よりボンディング形状が明確に検査できる ため、可視光用テレビカメラと赤外光用テレビカメラを 用い、それぞれのカメラで撮像した映像をそれぞれのモ ニタに映出し、比較検査を行っていた。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】従来技術では、撮像し たい光の成分に感度を有するカメラを個々に準備する必 要がある。本発明の第1の目的は、1台のカメラで紫外 光、可視光、赤外光の各成分ごとの映像を取り出すこと にある。本発明の第2の目的は1台のカメラで紫外光、 可視光、赤外光の各成分ごとの映像を同時に取り出すこ とにある。

[0004]

【課題を解決するための手段】本発明は上記第1の目的 を達成するため、テレビジョンカメラにおいて、1つの 40 撮像素子の光路中に、光を透過する波長領域の異なる複 数の光学フィルタを選択的に切換え装着する構成とした ものである。本発明は上記第2の目的を達成するため、 テレビジョンカメラにおいて、分光器と複数の撮像素子 の各光路中に、光を透過する波長領域の異なる光学フィ ルタをそれぞれ装着する構成としたものである。

[0005]

【作用】その結果、1台のテレビジョンカメラによって 各波長ごとの映像信号を、選択的あるいは同時に取り出 すことができる。

2

[0006]

【実施例】以下、本発明の一実施例を図1により説明す る。ここで、1は紫外光透過フィルタ、2は可視光透過 フィルタ、3は赤外光透過フィルタで、これらのフィル タはフィルタディスク8に内挿されている。6はフィル 【請求項3】 請求項1または2の記載において、上記 10 夕切換コントロール部で、例えば、数フィールドまたは 数フレーム毎にフィルタディスク8を回転し、フィルタ 1~3の内の1つを選択的に光路上に設定する。4は撮 像素子で、選択的に光路上に設定されたフィルタに対応 する波長成分の光を受光する。5は信号処理部で、撮像 素子4から得た映像信号に各種の信号処理を施こす。図 3にフィルタ1~3の透過特性を示す。この動作は、フ ィルタ切換コントロール部6または手動により、所望の 時間間隔(例えば、数フレーム)で、フィルタ1~3を 選択的に切換える。これにより、撮像素子4から所望の 時間間隔で、紫外光映像、可視光映像、赤外光映像が得 られる。なお、フィルタ1~3の切換えのタイミング、 順序等には、限定がなくカメラの使用用途に応じて、自 由に設定できる。

> 【0007】次に、本発明の他の実施例を図2により説 明する。これは、プリズム等の分光器7を用いた3板式 テレビカメラであり、分光器7と撮像素子4-1,4-2,4-3の各光路中に、対応する紫外光透過フィルタ 1、可視光透過フィルタ2、赤外光透過フィルタ3が挿 入されている。このような構成とすることにより、紫外 30 光映像、可視光映像、赤外光映像を同時に得ることがで きる。なお、得られたこれらの映像は、使用目的に応じ て、マトリクス合成して1つの映像としても、それぞれ 独立した映像としてもよい。

[0008]

【発明の効果】本発明によれば、波長領域の異なる画像 を1台のカメラで撮像でき、そのシステム構成は安価な ものとなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の構成を示すブロック図。

【図2】本発明の他の実施例の構成を示すブロック図。

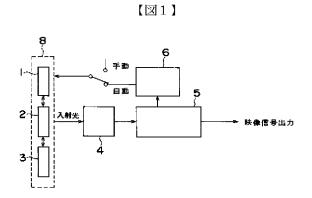
【図3】各種フィルタの透過特性を示す図。

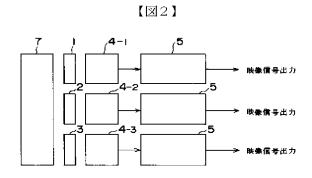
【符号の説明】

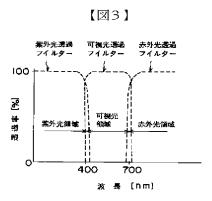
1:紫外光透過フィルタ、2:可視光透過フィルタ、

3:赤外光透過フィルタ、4,4-1,4-2,4-

3:撮像素子、5:信号処理部、6:フィルタ切換コン トロール部、7:分光器。







PAT-NO: JP408223477A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08223477 A

TITLE: TELEVISION CAMERA

PUBN-DATE: August 30, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME COUNTRY

TERAMOTO, TOSHIO SUZUKI, MAKOTO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

HITACHI DENSHI LTD N/A

APPL-NO: JP07028045

APPL-DATE: February 16, 1995

INT-CL (IPC): H04N005/235

ABSTRACT:

PURPOSE: To extract selectively or simultaneously a video signal for each wavelength by the television camera by inserting plural optical filters whose light transmission wavelength differs from each other and switched in an optical path of one image pickup element.

CONSTITUTION: A filter changeover control section 6 turns a filter disk 8 for each of

several fields or frames and selects any of filters 1-3 to an optical path. An image pickup element 4 receives a light of a wavelength component corresponding to the selected filter on the optical path. A signal processing section 5 applies various signal processing to the video signal obtained by the image pickup element 4. Then any of the filters 1-3 is selected manually or a filter changeover control section 6 at a desired time interval (e.g. several frames). Thus, an ultraviolet ray image, a visual video image and an infrared ray image are obtained from the image pickup element 4 at a desired time interval.

COPYRIGHT: (C) 1996, JPO